



いばらきダイバーシティ宣言

急速な人口減少社会の進展や少子高齢化、経済・社会のグローバル化の進行など、社会情勢は大きく変化しております。

このような中、活力があり、持続可能な地域社会をつくるためには、多様な人材の活用により、ニーズの変化や急激な環境の変化などのリスクへの対応力を高めることが重要であると考えます。

その実現のためには、年齢や性別、国籍、障がいの有無、性的指向・性自認等にかかわらず、一人ひとりが尊重され、誰もが個々の能力を発揮できる社会、多様性が受容されるダイバーシティ社会の実現が求められています。

私たちは、ダイバーシティ社会の実現に向けて次のことに取り組むことをここに宣言します。

『映画の隠れ家』は、すべての人が映画という共通の言語を通じてつながり、理解し合い、多様性を尊重し合える社会の実現を目指します。

1. 国籍、性別、年齢、性的指向、障がいの有無にかかわらず、すべての人々の視点や意見を尊重し、映画レビューやコンテンツ制作に反映させます。
2. 多様性をテーマにした映画や作品を積極的に取り上げ、その背景やメッセージを正確かつ誠実に伝えることを心がけます。
3. ブログや YouTube、SNS を通じてフォロワーや読者との対話を大切にし、多様な意見が交わされるオープンな場を提供します。
4. 誰もがアクセスしやすい情報発信を心がけ、読みやすく、理解しやすいコンテンツの提供を行います。
5. 多様な文化や価値観を伝える力を持つ映画を通じて、多様性の理解促進や異文化交流に貢献します。

令和7年1月3日

映画の隠れ家

代表 白石 一雄